

## v2.8 Evoko Home: Microsoft Entra の準備

Evoko Home を M365 に正しく接続するには、次の [4] セクションを完了して、必要な情報をすべて収集する必要があります。これらの箇条書きは、各ステップで収集する情報を分類したものです。この準備を完了するには、**M365 グローバル管理者**である必要があります。

1. Microsoft アプリの登録
  - アプリケーション (クライアント) ID (Evoko Home ウィザードで必要)
  - ディレクトリ (テナント) ID (Evoko Home ウィザードで必要)
  - シークレット値 (Evoko Home ウィザードで必要)
  - オブジェクト ID (エンタープライズ アプリ) (Power Shell で必要)
2. アプリへの API アクセス許可の追加
  - User.Read.All
  - Group.Read.All
3. グループの作成
  - リソース グループ オブジェクト ID (Power Shell で必要)
  - 送信者グループ オブジェクト ID (Power Shell で必要)
4. 主要な Power Shell コマンドセクション

### 1: Microsoft アプリの登録

このセクションの最後には、Microsoft で Evoko Home の構成を進めるために必要な 4 個の値が得られます。

- アプリケーション (クライアント) ID
- ディレクトリ (テナント) ID
- シークレット値
- オブジェクト ID

1. Microsoft 管理者アカウントを使用して [Microsoft Entra 管理センター](#) にログインします。
2. **アプリケーション** に移動し、**アプリ登録** に進みます。

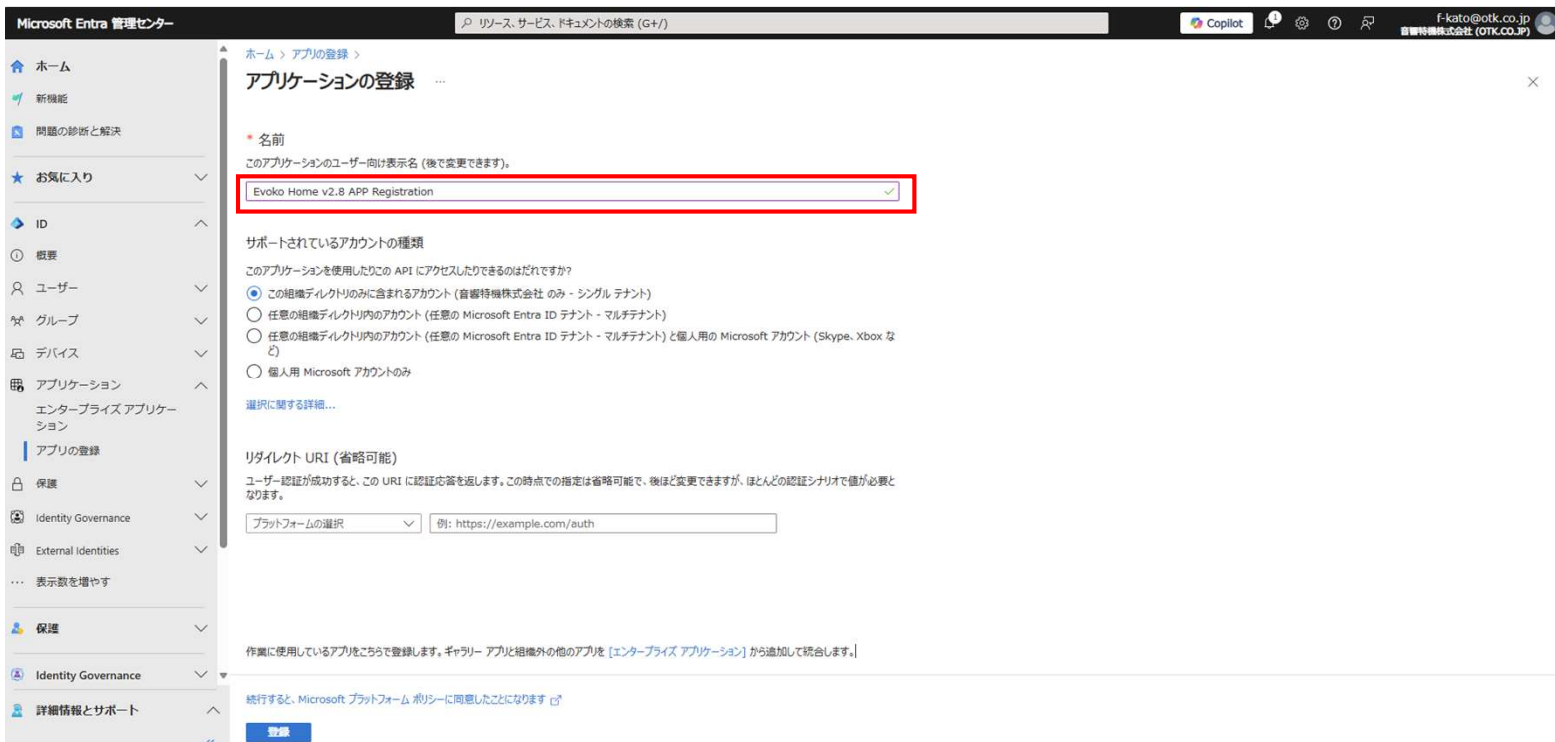


The screenshot shows the Microsoft Entra Management Center interface. The left sidebar contains a navigation menu with the following items: Home, Overview, ID, Users, Groups, Devices, Applications, App Registrations (highlighted with a red box), Security, Identity Governance, External Identities, and Detailed Information and Support. The main content area displays the 'App Registrations' page, which includes a search bar, a list of applications, and a button to 'Add a new application'. A red box highlights the 'App Registrations' link in the sidebar.

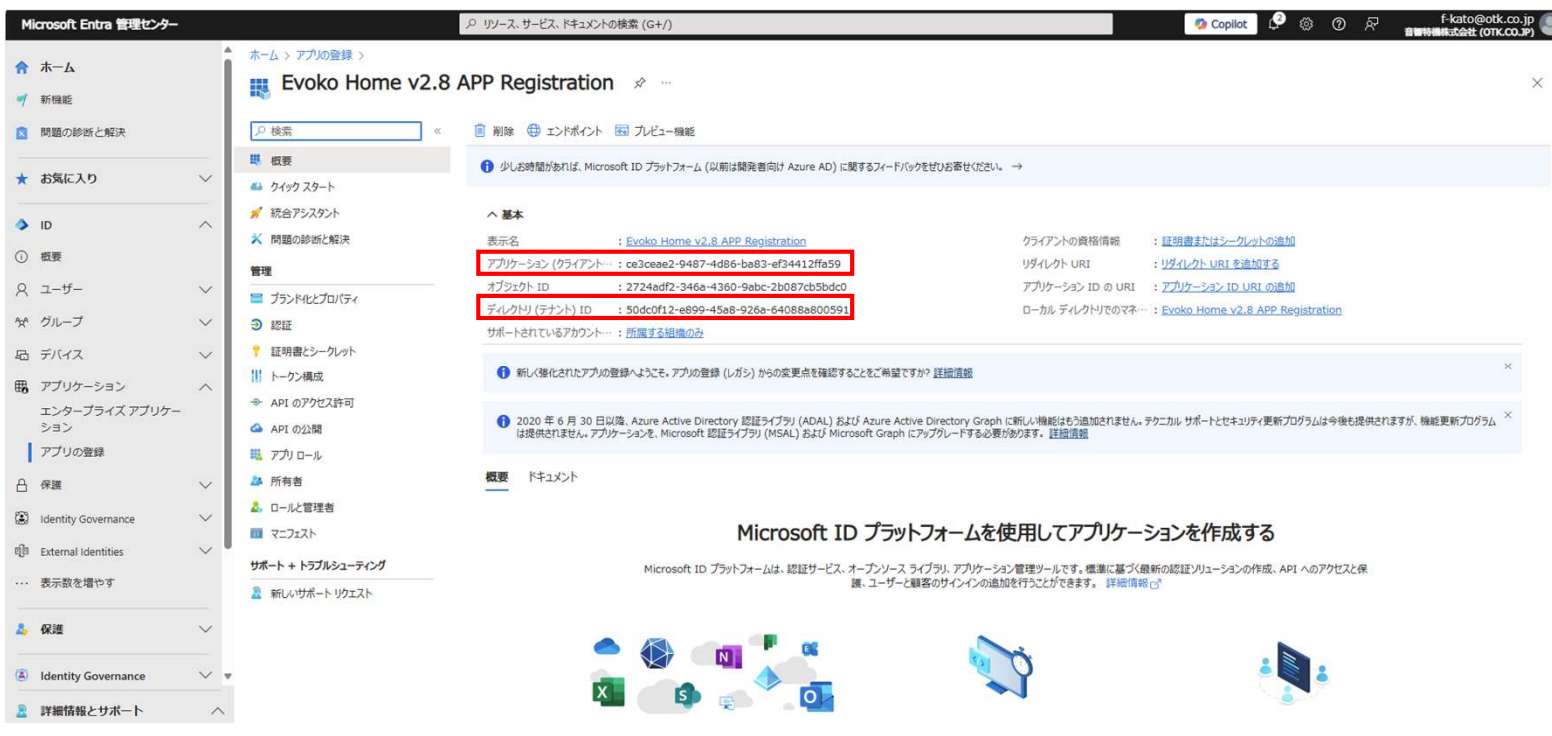
3. ここで、Evoko Home を Entra のアプリケーションとして登録します。+ **新規登録** オプションを選択します。



4. アプリケーションの名前を入力し、[登録] オプションを選択します。



5. アプリケーションが作成されると、概要ページが表示されます。後で Evoko Home を Microsoft 365 に接続するときに必要になるので、**Application (client) ID** と **Directory (tenant) ID** を書き留めておいてください。



Microsoft Entra 管理センター

ホーム > アプリの登録 > Evoko Home v2.8 APP Registration

概要

表示名 : Evoko Home v2.8 APP Registration

アプリケーション (クライアント) ID : ce3ceae2-9487-4d86-be83-ef34412ffa59

オブジェクト ID : 2724adf2-346a-4360-9ebc-2b087cb5bdc0

ディレクトリ (テナント) ID : 30dc0f12-e699-45a8-926a-64088a800591

クライアントの資格情報 : 証明書またはシークレットの追加

リダイレクト URI : リダイレクト URI を追加する

アプリケーション ID の URI : アプリケーション ID URI の追加

ローカル ディレクトリでのマネジ : Evoko Home v2.8 APP Registration

サポートされているアカウント : 所属する組織のみ

新しく強化されたアプリの登録へようこそ、アプリの登録 (レガシー) からの変更点を確認することをご希望ですか? [詳細情報](#)

2020 年 6 月 30 日以降、Azure Active Directory 認証ライブラリ (ADAL) および Azure Active Directory Graph に新しい機能はもう追加されません。テクニカル サポートとセキュリティ更新プログラムは今後も提供されますが、機能更新プログラムは提供されません。アプリケーションを、Microsoft 認証ライブラリ (MSAL) および Microsoft Graph にアップグレードする必要があります。 [詳細情報](#)

概要 ドキュメント

Microsoft ID プラットフォームを使用してアプリケーションを作成する

Microsoft ID プラットフォームは、認証サービス、オープンソース ライブラリ、アプリケーション管理ツールです。標準に基づく最新の認証ソリューションの作成、API へのアクセスと保護、ユーザーと顧客のサインインの追加を行うことができます。 [詳細情報](#)

6. 次に、この[証明書とシークレット]に移動してクライアント シークレットを構成します。  
※「アプリの登録」→「すべてのアプリケーション」→先ほど作成した「Evoko Home v2.8 APP Registration」を選択すると、以下の画面が表示されます



Microsoft Entra 管理センター

ホーム > アプリの登録 > Evoko Home v2.8 APP Registration

Evoko Home v2.8 APP Registration | 証明書とシークレット

概要

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所 (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する際に、機密性の高いアプリケーションが認証サービスに対して自身を識別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアント シークレットではなく) 証明書を使うことをお勧めします。

アプリケーション登録証明書、シークレット、フェデレーション資格情報は、下のタブにあります。

証明書 (0) クライアント シークレット (0) フェデレーション資格情報 (0)

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

新しいクライアント シークレット

| 説明                                  | 有効期限 | 値 | シークレット ID |
|-------------------------------------|------|---|-----------|
| このアプリケーションのクライアント シークレットは作成されていません。 |      |   |           |

7. [+ 新規クライアント シークレット] を選択します。



8. 新しく開いたウィンドウに必要な説明を入力し、有効期限を設定します（シークレットは Evoko Home が機能するために有効である必要があります。期限が切れると、Microsoft から Evoko への会議の同期が停止するため、期限切れのクライアント シークレットを新しいものに置き換えて、Microsoft に再度認証する必要があります）。  
[追加] を押します。



9. シークレット値をコピーします。これは後の手順で必要になります。

Microsoft Entra 管理センター

ホーム > アプリの登録 > Evoko Home v2.8 APP Registration | 証明書とシークレット

Evoko Home v2.8 APP Registration | 証明書とシークレット

概要

クイック スタート

統合アシスタント

問題の診断と解決

管理

ブランド化とプロパティ

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

お時間があれば、フィードバックをお寄せください。 →

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所 (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する際に、機密性の高いアプリケーションが認証サービスに対して自身を識別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアント シークレットではなく) 証明書を使うことをお勧めします。

アプリケーション登録証明書、シークレット、フェデレーション資格情報は、下のタブにあります。

証明書 (0) クライアント シークレット (1) フェデレーション資格情報 (0)

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアント シークレット

| 説明           | 有効期限     | 値 | シークレット ID |
|--------------|----------|---|-----------|
| Super Secret | 2025/7/9 |   |           |

10. 次に、左側の列の [エンタープライズ アプリ] に移動し、前の手順で作成したアプリを検索します。

Microsoft Entra 管理センター

ホーム > アプリの登録 > Evoko Home v2.8 APP Registration | 証明書とシークレット > エンタープライズ アプリケーション

エンタープライズ アプリケーション | すべてのアプリケーション

概要

問題の診断と解決

管理

すべてのアプリケーション

プライベート ネットワーク コネクタ

ユーザー設定

アプリ起動ツール

カスタム認証拡張機能

セキュリティ

条件付きアクセス

同意とアクセス許可

アクティビティ

サインイン ログ

使用状況と分析情報

監査ログ

プロビジョニング ログ

アクセス レビュー

管理者の同意要求

一括操作の結果

トラブルシューティング + サポート

新しいアプリケーション

更新

ダウンロード (エクスポート)

プレビューの情報

プレビュー機能

フィードバックがある場合

Microsoft Entra テナントを ID プロバイダーとして使用するように設定されている、ご自身の組織内のアプリケーションを表示、フィルター処理、検索します。

組織で管理されているアプリケーションのリストは、アプリケーションの登録にあります。

Evoko Home v2.8 APP Registration

アプリケーションの種類 == エンタープライズ アプリケーション

アプリケーション ID 次の値で始まる

フィルターを追加

1 個のアプリケーションが見つかりました

| 名前                 | オブジェクト ID             | アプリケーション ID           | ホームページ URL | 作成日       | 証明書有効期限の状... | アクティブな証明書の... | 識別子 URI (エンティ...      |
|--------------------|-----------------------|-----------------------|------------|-----------|--------------|---------------|-----------------------|
| EH Evoko Home v2.8 | 130f8069-e973-4ed1... | ce3ceae2-9487-4d86... |            | 2025/1/10 | -            | -             | ce3ceae2-9487-4d86... |

11. アプリのプロパティに移動して**オブジェクト ID** を見つけます (これは、アプリの登録ページに関連付けられているオブジェクト ID とは異なります)。このオブジェクト ID を、前の手順のアプリケーション (クライアント) ID およびディレクトリ (テナント) ID とともに保存します。これは、次の手順で Exchange Powershell で使用するために必要になります。



12. これで、以下の [4] の値がメモされているはずです。以下4つの値をメモしましたら、次の API 権限の追加に進みます。

- アプリケーション (クライアント) ID
- ディレクトリ (テナント) ID
- シークレット値
- オブジェクト ID

## セクション 2: API 権限の追加

このガイドの最後までに、登録したアプリケーションに次の2つの権限が追加されます:

- User.Read.All
- Group.Read.All

1. アプリ登録ページで API 権限に移動します。

Microsoft Entra 管理センター

ホーム > アプリの登録 > Evoko Home v2.8 APP Registration | 証明書とシークレット > エンタープライズ アプリケーション | すべてのアプリケーション > Evoko Home v2.8 APP Registration | 概要 > アプリの登録

### Evoko Home v2.8 APP Registration

概要

クイック スタート

統合アシスタント

問題の診断と解決

管理

ブランド化とプロパティ

認証

証明書とシークレット

トークン構成

**API のアクセス許可**

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

表示名: Evoko Home v2.8 APP Registration

アプリケーション (クライアント) ID: ce3ceae2-9487-4d86-ba83-ef34412ffa59

オブジェクト ID: 2724edf2-346a-4360-9abc-2b087cb5bdc0

ディレクトリ (テナント) ID: 50dc0f12-e899-45a8-926a-64088a800591

サポートされているアカウント: 所属する組織のみ

クライアントの資格情報: 0 証明書, 1 シークレット

リダイレクト URI: リダイレクト URI を追加する

アプリケーション ID の URI: アプリケーション ID URI の追加

ローカル ディレクトリでのマネージメント: Evoko Home v2.8 APP Registration

2020 年 6 月 30 日以後、Azure Active Directory 認証ライブラリ (ADAL) および Azure Active Directory Graph に新しい機能はもう追加されません。テクニカル サポートとセキュリティ更新プログラムは今後も提供されますが、機能更新プログラムは提供されません。アプリケーションを、Microsoft 認証ライブラリ (MSAL) および Microsoft Graph にアップグレードする必要があります。詳細情報

### Microsoft ID プラットフォームを使用してアプリケーションを作成する

Microsoft ID プラットフォームは、認証サービス、オープンソース ライブラリ、アプリケーション管理ツールです。標準に基づいた最新の認証ソリューションの作成、API へのアクセスと保護、ユーザーと顧客のサインインの追加を行うことができます。詳細情報

2. [+ アクセス許可の追加] をクリックし、[Microsoft Graph] を選択します。

Microsoft Entra 管理センター

ホーム > アプリの登録 > Evoko Home v2.8 APP Registration | 証明書とシークレット > エンタープライズ アプリケーション | すべてのアプリケーション > Evoko Home v2.8 APP Registration | 概要 > アプリの登録 > **API のアクセス許可**

### Evoko Home v2.8 APP Registration | API のアクセス許可

最新の情報に更新

フィードバックがある場合

テナント全体の同意を付与すると、そのアプリケーションに対してテナント全体に紐付けされている

“管理者の同意が必要”列には、組織の既定値が表示されます。ただし、ユーザーの同意は、アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている必要とするすべてのアクセス許可を含める必要があります。アクセス許可と同意に関する詳細情報

構成されたアクセス許可

アクセス許可の追加

API / アクセス許可の名前

種類

説明

Microsoft Graph (1)

User.Read

委任済み

Sign in and read user profile

個々のアプリに関する同意済みのアクセス許可とテナントの同意設定を表示および管理するには、

### API アクセス許可の要求

API を選択します

Microsoft API

所属する組織で使用している API

自分の API

よく使用される Microsoft API

Microsoft Graph

Office 365, Enterprise Mobility + Security, Windows 10 の大量のデータを活用しよう。Microsoft Entra ID, Excel, Intune, Outlook/Exchange, OneDrive, OneNote, SharePoint, Planner など単一エンドポイント経由でアクセスできます。

Azure Communication Services

Microsoft Teams で使用されるのと同じセキュリティで保護された CPaaS プラットフォームを使用した豊富なコミュニケーション エクスperiences

Azure DevOps

Azure DevOps と Azure DevOps Server との統合

Azure Rights Management Services

検証済みのユーザーに、保護されたコンテンツの読み取りと書き込みを許可します

Azure Service Management

Azure portal で利用できる機能の大部分へのプログラムによるアクセス

Data Export Service for Microsoft Dynamics 365

Microsoft Dynamics CRM 組織から外部宛先にデータをエクスポートします

Dynamics 365 Business Central

Dynamics 365 Business Central のデータと機能へのプログラムによるアクセス

Dynamics CRM

CRM ビジネス ソフトウェアと ERP システムの機能にアクセスします

Intune

Intune データへのプログラムによるアクセス

Microsoft Purview

オンプレミス、マルチクラウド、サービスとしてのソフトウェア (SaaS) のデータの管理と制御に役立つ統合データ ガバナンス サービス

Office 365 Management APIs

OneNote

Power Automate

3. [アプリケーションのアクセス許可] を選択します

Microsoft Entra 管理センター

ホーム

新機能

問題の診断と解決

お気に入り

ID

概要

ユーザー

グループ

デバイス

アプリケーション

エンタープライズアプリケーション

アプリの登録

保護

Identity Governance

External Identities

表示数を増やす

保護

Evoko Home v2.8 APP Registration | API のアクセス許可

API のアクセス許可

API / アクセス許可の名前

種類

説明

User.Read

委任済み

Sign in and read user profile

アプリケーションの許可

アプリケーションは、サインインしたユーザーとして、バックグラウンド サービスまたはデーモンとして実行されます。

4. これにより、アプリケーション アクセスのアクセス許可の一覧が開きます。「User.Read」を検索し、User.Read.All をマークして、[アクセス許可の追加] をクリックします

Microsoft Entra 管理センター

ホーム

新機能

問題の診断と解決

お気に入り

ID

概要

ユーザー

グループ

デバイス

アプリケーション

エンタープライズアプリケーション

アプリの登録

保護

Identity Governance

External Identities

表示数を増やす

保護

Identity Governance

詳細情報とサポート

Evoko Home v2.8 APP Registration | API のアクセス許可

API のアクセス許可

API / アクセス許可の名前

種類

説明

User.Read

委任済み

Sign in and read user profile

アプリケーションの許可

アプリケーションは、サインインしたユーザーとして、バックグラウンド サービスまたはデーモンとして実行されます。

Microsoft Entra 管理センター

ホーム

新機能

問題の診断と解決

お気に入り

ID

概要

ユーザー

グループ

デバイス

アプリケーション

エンタープライズアプリケーション

アプリの登録

保護

Identity Governance

External Identities

表示数を増やす

保護

Identity Governance

詳細情報とサポート

ホーム > アプリの登録 > Evoko Home v2.8 APP Registration | 証明書とシークレット > エンタープライズアプリケーション | すべて > Evoko Home v2.8 APP Registration | API のアクセス許可

検索

最新の情報に更新 フィードバックがある場合

概要

クイックスタート

統合アシスタント

問題の診断と解決

管理

ブランド化とプロ/ティ

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

API のアクセス許可

「管理者の同意が必要」列には、組織の既定値が表示されます。ただし、ユーザーの同意は、アプリケーションに対するアクセス許可を編纂しています。ユーザーは、既に同意したことがある場合、テナント全体の同意を付与すると、そのアプリケーションに対してテナント全体に付与されている

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている必要すべてのアクセス許可を含める必要があります。アクセス許可と同意に関する詳細情報

アクセス許可の追加 富嶺特機株式会社 に管理者の同意を与えます

| API / アクセス許可の名前       | 種類       | 説明                            |
|-----------------------|----------|-------------------------------|
| ▼ Microsoft Graph (2) |          |                               |
| User.Read             | 委任済み     | Sign in and read user profile |
| User.Read.All         | アプリケー... | Read all users' full profiles |

個々のアプリに関する同意済みのアクセス許可とテナントの同意設定を表示および管理するには、

API アクセス許可の要求

すべての API

Microsoft Graph  
https://graph.microsoft.com/ ドキュメント

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可  
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可  
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして、バックグラウンド サービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する

Group.Read

アクセス許可

管理者の同意が必要

Group (1)

☒ Group.Read.All  
Read all groups はい

☐ Group.ReadWrite.All  
Read and write all groups はい

アクセス許可の追加 破棄

**Microsoft Entra 管理センター**

ホーム | アプリ登録 | Evoko Home v2.8 APP Registration | 証明書とシークレット | エンタープライズ アプリケーション | すべてのアプリケーション | Evoko Home v2.8 APP Registration | 概要 | アプリの登録 | Evoko Home v2.8 APP Registration

## Evoko Home v2.8 APP Registration | API のアクセス許可

検索 < 最新の情報に更新 フィードバックがある場合

**概要**

- クイックスタート
- 統合アシスタント
- 問題の診断と解決

**管理**

- ブランド化とプロパティ
- 認証
- 証明書とシークレット
- トークン構成
- API のアクセス許可**
- API の公開
- アプリ ロール
- 所有者
- ロールと管理者
- マニフェスト

**サポート +トラブルシューティング**

- 新しいサポート リクエスト

構成されたアクセス許可  
アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。[アクセス許可と同意に関する詳細情報](#)

+ アクセス許可の追加 ✓ **音響特機株式会社 に管理者の同意を与えます**

| API / アクセス許可の名前     | 種類      | 説明                            | 管理者の同意が必要 | 状態                  |
|---------------------|---------|-------------------------------|-----------|---------------------|
| Microsoft Graph (3) |         |                               |           | ...                 |
| Group.Read.All      | アプリー... | Read all groups               | はい        | ⚠️ 音響特機株式会社に付... .. |
| User.Read           | 委任済み    | Sign in and read user profile | いいえ       | ...                 |
| User.Read.All       | アプリー... | Read all users' full profiles | はい        | ⚠️ 音響特機株式会社に付... .. |

このアプリに関する同意済みのアクセス許可とテナントの同意設定を表示および管理するには、[エンタープライズ アプリケーション](#)をお試しください。

いいえ

| API / アクセス許可の名前     | 種類       | 説明                            | 管理者の同意が必要 | 状態                 |
|---------------------|----------|-------------------------------|-----------|--------------------|
| Microsoft Graph (3) |          |                               |           | ...                |
| Group.Read.All      | アプリケー... | Read all groups               | はい        | ✓ 音審特機株式会社に付... .. |
| User.Read           | 委任済み     | Sign in and read user profile | いいえ       | ✓ 音審特機株式会社         |
| User.Read.All       | アプリケー... | Read all users' full profiles | はい        | ✓ 音審特機株式会社に付... .. |

# セクション 3: グループの作成

## 1. グループに移動します。

The screenshot shows the Microsoft Entra Management Center interface. The left navigation pane has a red box around the 'グループ' (Groups) link. The main content area displays the 'グループ | 概要' (Groups | Overview) page. At the top, there are tabs for '新しいグループ' (New Group) and 'グループ情報をダウンロード' (Download Group Information). Below this, there's a search bar for 'テナントの検索' (Search Tenant). The '基本情報' (Basic Information) section shows a table with group counts: 合計グループ (Total Groups) 76, 動的グループ (Dynamic Groups) 1, M365 グループ (M365 Groups) 32, クラウドグループ (Cloud Groups) 76, セキュリティグループ (Security Groups) 1, and オンプレミスのグループ (On-premises Groups) 0. There are also sections for 'アラート' (Alerts), '機能のハイライト' (Feature Highlights), and 'クイックアクション' (Quick Actions).

## 2. 新しいグループを選択します

This screenshot is similar to the previous one, but the '新しいグループ' (New Group) link in the top navigation bar is highlighted with a red box. The rest of the interface remains the same, showing the 'グループ | 概要' (Groups | Overview) page with the same search bar, basic information table, and quick actions.

3. グループの種類は **Microsoft 365** で、メンバーシップの種類は割り当て済みです（任意の名前と説明を選択できます）。[作成] をクリックします。

Microsoft Entra 管理センター

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム  
新機能  
問題の診断と解決  
お気に入り  
ID  
概要  
ユーザー  
グループ  
デバイス  
アプリケーション  
保護  
Identity Governance  
External Identities  
詳細情報とサポート

新しいグループ

フィードバックがある場合

グループの種類 \* ① Microsoft 365

グループ名 \* ① v2.8 Evoko Home

グループのメール アドレス \* ① v2.8EvokoHome @onkyotokki.onmicrosoft.com

グループの説明 ① v2.8 Evoko Home

グループに Microsoft Entra ロールを割り当てることができる ①  
はい いいえ

メンバーシップの種類 ① 割り当て済み

Microsoft 365 グループを分類および保護するには、Microsoft Entra ID でグループの秘密度レベルを使用します。Microsoft Entra ID での秘密度レベルの割り当てについて、詳細をご確認ください。

所有者  
所有者が選択されていません

メンバー  
メンバーが選択されていません

役割  
ロールが選択されていません

作成

4. 次に、Evoko Home に追加する部屋をこのグループに追加します。これを行うには、前の手順で作成したグループの名前を検索し、グループを選択します。

Microsoft Entra 管理センター

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

Copilot

F.kato@otk.co.jp  
音響特機株式会社 (OTK.CO.JP)

ホーム  
新機能  
問題の診断と解決  
お気に入り  
ID  
概要  
ユーザー  
グループ  
デバイス  
アプリケーション  
保護  
Identity Governance  
External Identities  
詳細情報とサポート

グループ | すべてのグループ

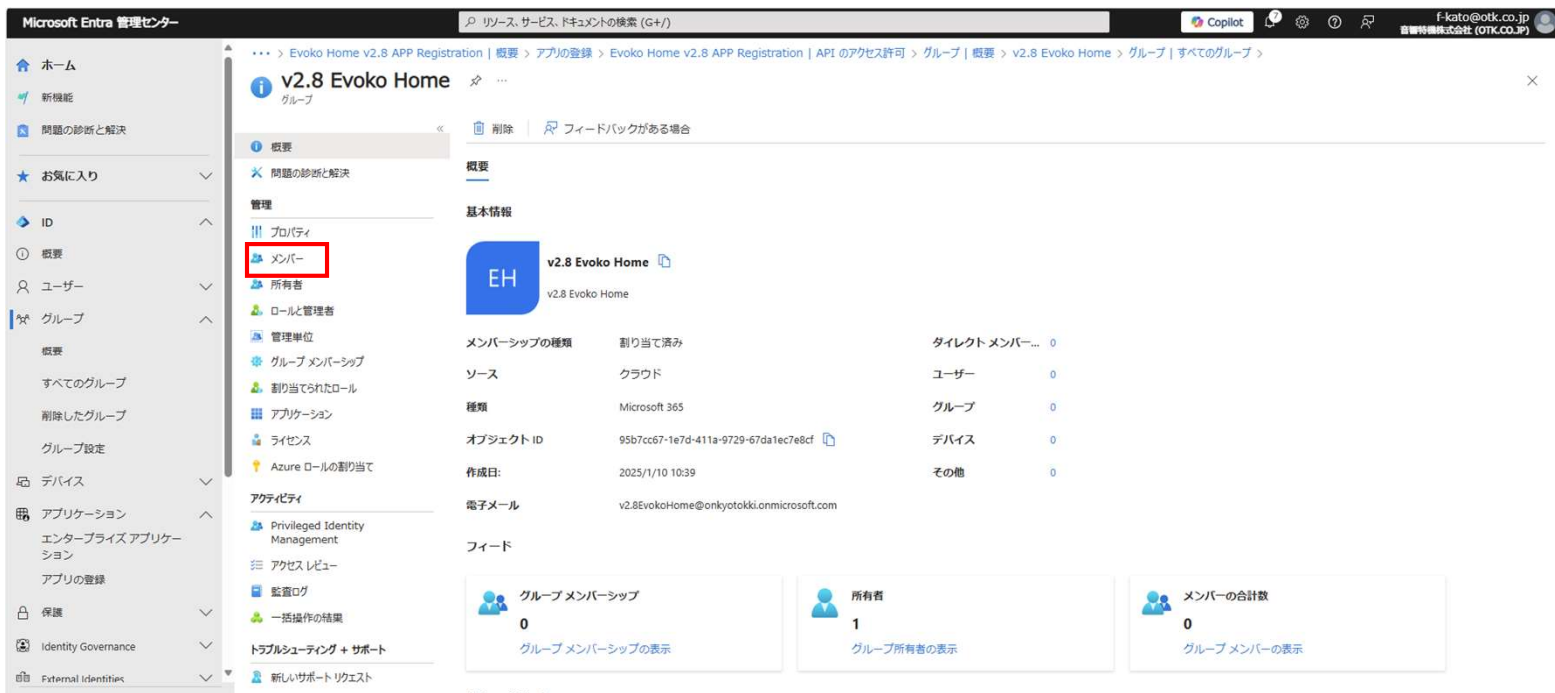
新しいグループ グループ情報をダウンロード 更新 ビューの管理 削除 フィードバックがある場合

すべてのグループ v2.8

検索モード 次 の値を含む  
1 個のグループが見つかりました

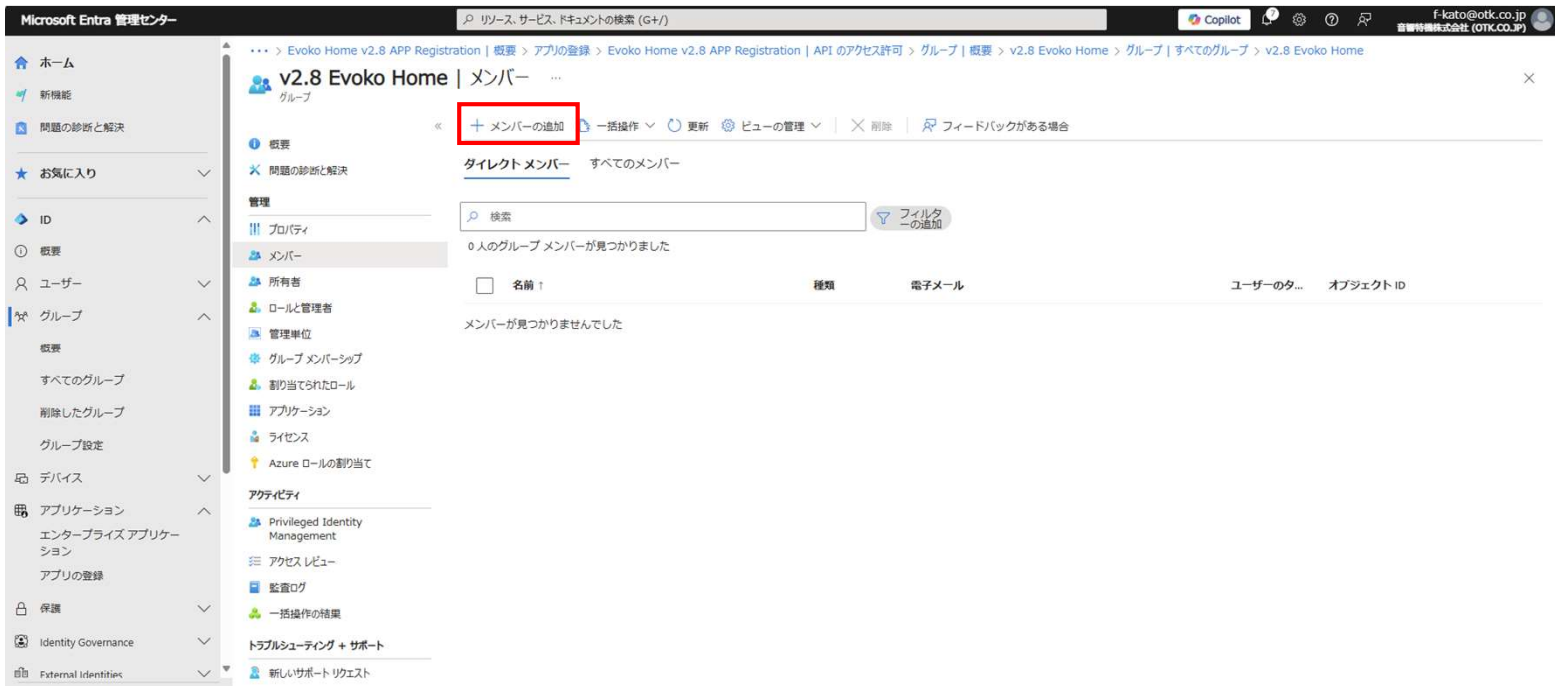
| 名前                                       | オブジェクト ID | グループの種類       | メンバーシップの種類 | 電子メール |
|------------------------------------------|-----------|---------------|------------|-------|
| <input type="checkbox"/> v2.8 Evoko Home |           | Microsoft 365 | 割り当て済み     |       |

## 5. 左側から [メンバー] をクリックします



The screenshot shows the Microsoft Entra Management Center interface. The left sidebar contains navigation options like 'ホーム', '新機能', '問題の診断と解決', 'お気に入り', 'ID', '概要', 'ユーザー', 'グループ', 'デバイス', 'アプリケーション', '保護', 'Identity Governance', and 'External Identities'. The 'グループ' (Groups) section is expanded, and the 'メンバー' (Members) tab is selected. The main content area displays the 'v2.8 Evoko Home' group page. The '概要' (Overview) tab is active, showing the group's basic information, including its name, type, and a list of members. The 'メンバー' (Members) tab is highlighted in the left sidebar and the top navigation bar. The main content area shows the group's basic information, including its name, type, and a list of members.

## 6. [+ メンバーの追加] を選択します



The screenshot shows the Microsoft Entra Management Center interface. The left sidebar contains navigation options like 'ホーム', '新機能', '問題の診断と解決', 'お気に入り', 'ID', '概要', 'ユーザー', 'グループ', 'デバイス', 'アプリケーション', '保護', 'Identity Governance', and 'External Identities'. The 'グループ' (Groups) section is expanded, and the 'メンバー' (Members) tab is selected. The main content area displays the 'v2.8 Evoko Home' group page. The '+ メンバーの追加' (Add Members) button is highlighted in the top navigation bar. The main content area shows the group's members, including a search bar and a list of members.

7. Evoko Home と Liso で使用する部屋を選択し、選択を押して追加します。この演習では、3 部屋を追加します。

The screenshot shows the 'メンバーの追加' (Add Members) dialog in the Microsoft Entra Management Center. The dialog is for the 'v2.8 Evoko Home' group. It displays a list of members to be added, with three rooms selected: 1F-Model-Room, 5F-Meeting-Room, and 5F-Reception-Room. The 'Add' button at the bottom is highlighted with a red box.

| 名前                | 種類   | 詳細                                      |
|-------------------|------|-----------------------------------------|
| 1F-Model-Room     | ユーザー | G89eea876ea04c1388ee564ad934f154@ot...  |
| 5F-Meeting-Room   | ユーザー | meeting-room@otk.co.jp                  |
| 5F-Reception-Room | ユーザー | G9792e15c331f40eca23202252fa81586@ot... |

8. これでグループが作成され、リソースが追加されました。リソースグループオブジェクト ID をメモします。このオブジェクト ID は、後でサービスプリンシパルセクションで使用します

The screenshot shows the 'v2.8 Evoko Home | プロパティ' (Properties) page in the Microsoft Entra Management Center. The 'Object ID' field is highlighted with a red box, showing the value '95b7cc67-1e7d-411a-9729-67da1ec7e8cf'.

Object ID: 95b7cc67-1e7d-411a-9729-67da1ec7e8cf

9. 送信者グループの作成: Session3の 1～8の手順で再度「送信者グループ」を作成します。1～8では部屋を追加しましたが、ここでは、Evoko Home で電子メール通知を送信するために使用するユーザーを追加します。（この目的のために、メールボックスを持つ専用ユーザーを作成することをお勧めします）。完了したら、[作成] を押します。リストにユーザーが表示されます。この送信者のメールアドレスは後で登録に使用します。

Microsoft Entra 管理センター

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

新しいグループ ...

フィードバックがある場合

グループの種類 \* ① Office365を選択

グループ名 \* ① グループ名をSenderと分かるようにする

グループのメール アドレス \* ①

グループの説明 ①

グループに Microsoft Entra ロールを割り当てることができる ①

メンバーシップの種類 ①

割り当て済み

所有者

所有者が選択された

メンバー

メンバーが選択された

役割

ロールが選択された

作成

メンバーの追加

作成後はグループユーザーにメール送信用のアカウントを追加する

10. 送信者グループのオブジェクト ID もメモします。これは、後でサービス プリンシパルの作成セクションで必要になります。

Microsoft Entra 管理センター

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

v2.8 Evoko Home Sender | プロパティ ...

保存 破棄 フィードバックがある場合

全般設定

グループ名 \* ①

グループの説明 ①

グループの種類

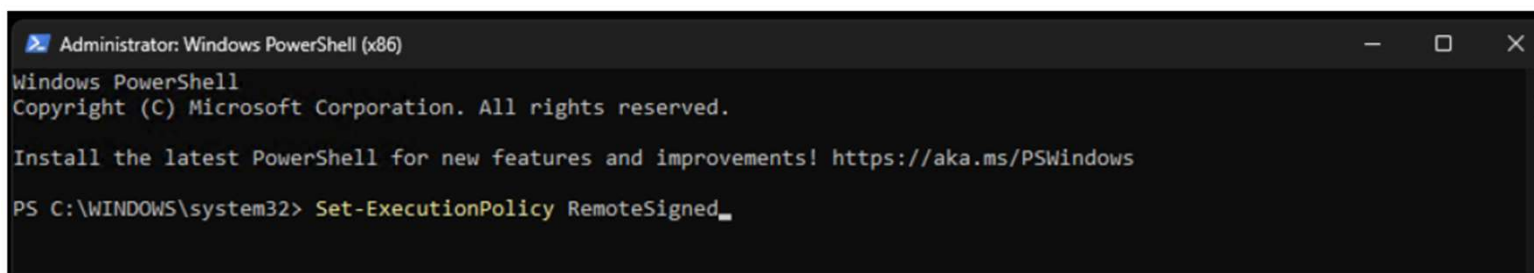
メンバーシップの種類 ①

オブジェクト ID

グループに Microsoft Entra ロールを割り当てることができる ①

## セクション 4: PowerShell でのサービス プリンシパル

1. Powershell を管理者として起動して [Exchange Online](#) に接続します。
  - 「***Set-ExecutionPolicy RemoteSigned***」と入力し、キーボードで Enter キーを押します。

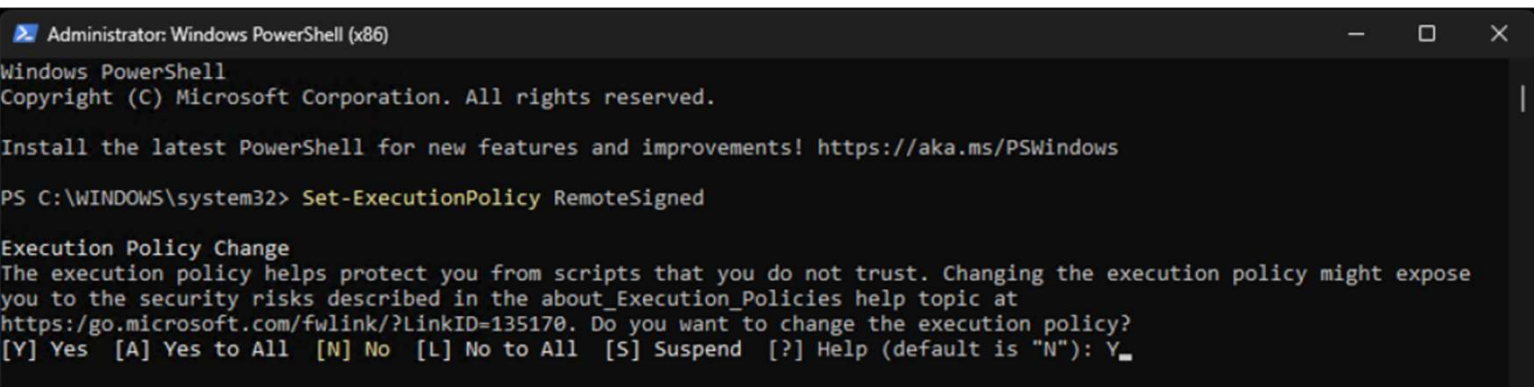


```
Administrator: Windows PowerShell (x86)
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

Install the latest PowerShell for new features and improvements! https://aka.ms/PSWindows

PS C:\WINDOWS\system32> Set-ExecutionPolicy RemoteSigned
```

2. 「***Y***」と入力し、キーボードで Enter キーを押します。
  - Enter キーを押します



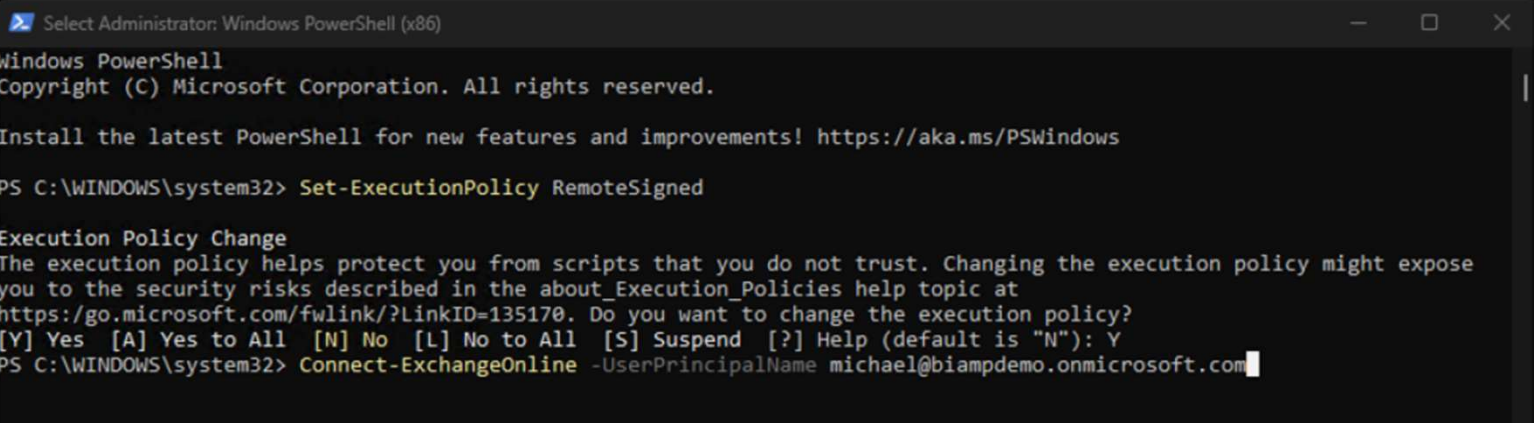
```
Administrator: Windows PowerShell (x86)
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

Install the latest PowerShell for new features and improvements! https://aka.ms/PSWindows

PS C:\WINDOWS\system32> Set-ExecutionPolicy RemoteSigned

Execution Policy Change
The execution policy helps protect you from scripts that you do not trust. Changing the execution policy might expose
you to the security risks described in the about_Execution_Policies help topic at
https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=135170. Do you want to change the execution policy?
[Y] Yes [A] Yes to All [N] No [L] No to All [S] Suspend [?] Help (default is "N"): Y
```

3. 「***Connect-ExchangeOnline -UserPrincipalName user@domain.com***」と入力します (管理者のメール アドレスを user@domain.com に置き換えます)
  - Enter キーを押します



```
Select Administrator: Windows PowerShell (x86)
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

Install the latest PowerShell for new features and improvements! https://aka.ms/PSWindows

PS C:\WINDOWS\system32> Set-ExecutionPolicy RemoteSigned

Execution Policy Change
The execution policy helps protect you from scripts that you do not trust. Changing the execution policy might expose
you to the security risks described in the about_Execution_Policies help topic at
https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=135170. Do you want to change the execution policy?
[Y] Yes [A] Yes to All [N] No [L] No to All [S] Suspend [?] Help (default is "N"): Y
PS C:\WINDOWS\system32> Connect-ExchangeOnline -UserPrincipalName michael@biampdemo.onmicrosoft.com
```

#### 4. グローバル管理者アカウントにログインします

```
Administrator: Windows PowerShell (x86)
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

Install the latest PowerShell for new features and improvements! https://aka.ms/PSWindows

PS C:\WINDOWS\system32> Set-ExecutionPolicy RemoteSigned

Execution Policy Change
The execution policy helps protect you from scripts that you do not trust. Changing the
you to the security risks described in the about_Execution_Policies help topic at
https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=135170. Do you want to change the execution policy?
[Y] Yes [A] Yes to All [N] No [L] No to All [S] Suspend [?] Help (default is "N"): Y
PS C:\WINDOWS\system32> Connect-ExchangeOnline -UserPrincipalName michael@biampdemo.onmicrosoft.com
```

Sign in to your account

 Microsoft

← michael@biampdemo.onmicrosoft.com

Enter password

[Forgot my password](#)

[Sign in with another account](#)

Sign in

[Terms of use](#) [Privacy & cookies](#) ...

#### 5. 認証されると、次のようなウィンドウが表示されます。

```
Administrator: Windows PowerShell (x86)
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

Install the latest PowerShell for new features and improvements! https://aka.ms/PSWindows

PS C:\WINDOWS\system32> Set-ExecutionPolicy RemoteSigned

Execution Policy Change
The execution policy helps protect you from scripts that you do not trust. Changing the execution policy might expose
you to the security risks described in the about_Execution_Policies help topic at
https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=135170. Do you want to change the execution policy?
[Y] Yes [A] Yes to All [N] No [L] No to All [S] Suspend [?] Help (default is "N"): Y
PS C:\WINDOWS\system32> Connect-ExchangeOnline -UserPrincipalName michael@biampdemo.onmicrosoft.com

-----
This V3 EXO PowerShell module contains new REST API backed Exchange Online cmdlets which doesn't require WinRM for Client-Server communication. You can now run these cmdlets after turning off WinRM Basic Auth in your client machine thus making it more secure.

Unlike the EXO* prefixed cmdlets, the cmdlets in this module support full functional parity with the RPS (V1) cmdlets.

V3 cmdlets in the downloaded module are resilient to transient failures, handling retries and throttling errors inherently.

REST backed EOP and SCC cmdlets are also available in the V3 module. Similar to EXO, the cmdlets can be run without WinRM basic auth enabled.

For more information check https://aka.ms/exov3-module
-----

PS C:\WINDOWS\system32>
```

6. 以下のコマンドを実行して、サービス プリンシパルを作成します。AppID を、Evoko Home に登録したアプリケーションの *AppID* に置き換えます。また、*ObjectID* を、登録の *Enterprise AppObjectID* に置き換えます。

DisplayName は任意の名前にすることができます。

- **New-ServicePrincipal -AppId <<AppId>> -ObjectId <<AppObjectID>> -DisplayName "Some Display Name"**
  - Enter キーを押します

```
PS C:\WINDOWS\system32> New-ServicePrincipal -AppId ce3ceae2-9487-4d86-ba83-ef34412ffa59 -ObjectId 130f8069-e973-4ed1-b97d-7830e49e2299 -DisplayName "EvokoHome "
```

| DisplayName | ObjectId                             | AppId                                |
|-------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| EvokoHome   | 130f8069-e973-4ed1-b97d-7830e49e2299 | ce3ceae2-9487-4d86-ba83-ef34412ffa59 |

7. 次に、リソース グループの管理ロール割り当てを作成します。AppID を、Evoko Home に登録したアプリケーションの AppID に置き換えます。また、CalendarObjectID を、前のセクションの手順 8 で作成したカレンダー グループ オブジェクト ID に置き換えます。

- **New-ManagementRoleAssignment -App <<AppId>> -Role "Application Calendars.ReadWrite"-RecipientGroupScope <<CalendarObjectID>>**
  - Enter キーを押します

```
PS C:\WINDOWS\system32> New-ServicePrincipal -AppId ce3ceae2-9487-4d86-ba83-ef34412ffa59 -ObjectId 130f8069-e973-4ed1-b97d-7830e49e2299 -DisplayName "EvokoHome "
```

| DisplayName | ObjectId                             | AppId                                |
|-------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| EvokoHome   | 130f8069-e973-4ed1-b97d-7830e49e2299 | ce3ceae2-9487-4d86-ba83-ef34412ffa59 |

```
PS C:\WINDOWS\system32> New-ManagementRoleAssignment -App ce3ceae2-9487-4d86-ba83-ef34412ffa59 -Role "Application Calendars.ReadWrite"-RecipientGroupScope 95b7cc67-1e7d-411a-9729-67da1ec7e8cf
```

| Name                           | Role              | RoleAssigneeName  | RoleAssigneeType | AssignmentMethod | EffectiveUserName |
|--------------------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|-------------------|
| Application Calendars.ReadW... | Application Ca... | 130f8069-e973-... | ServicePrincipal | Direct           | e                 |

8. 次に、送信者グループの管理ロール割り当てを作成します。AppID を、Evoko Home に登録したアプリケーションの AppID に置き換えます。また、SenderObjectID を、前のセクションの手順 9 で作成した送信者グループ オブジェクト ID に置き換えます。

- **New-ManagementRoleAssignment -App <<AppId>> -Role "Application Mail.Send"-RecipientGroupScope <<SenderObjectID>>**
  - Enter キーを押します

```
PS C:\WINDOWS\system32> New-ServicePrincipal -AppId ce3ceae2-9487-4d86-ba83-ef34412ffa59 -ObjectId 130f8069-e973-4ed1-b97d-7830e49e2299 -DisplayName "EvokoHome "
```

| DisplayName | ObjectId                             | AppId                                |
|-------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| EvokoHome   | 130f8069-e973-4ed1-b97d-7830e49e2299 | ce3ceae2-9487-4d86-ba83-ef34412ffa59 |

```
PS C:\WINDOWS\system32> New-ManagementRoleAssignment -App ce3ceae2-9487-4d86-ba83-ef34412ffa59 -Role "Application Calendars.ReadWrite"-RecipientGroupScope 95b7cc67-1e7d-411a-9729-67da1ec7e8cf
```

| Name                           | Role              | RoleAssigneeName  | RoleAssigneeType | AssignmentMethod | EffectiveUserName |
|--------------------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|-------------------|
| Application Calendars.ReadW... | Application Ca... | 130f8069-e973-... | ServicePrincipal | Direct           | e                 |

```
PS C:\WINDOWS\system32> New-ManagementRoleAssignment -App ce3ceae2-9487-4d86-ba83-ef34412ffa59 -Role "Application Mail.Send"-RecipientGroupScope db0970f2-c63e-4b09-beca-abd112132cb9
```

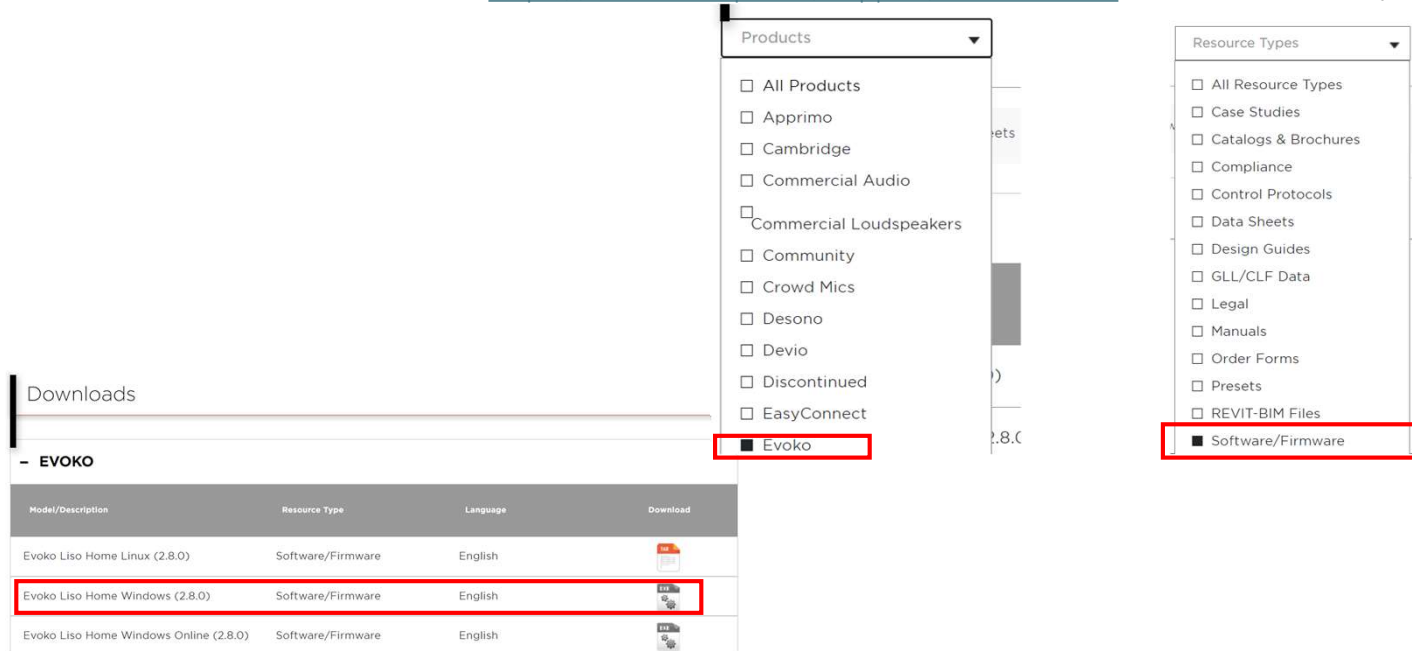
| Name                           | Role              | RoleAssigneeName  | RoleAssigneeType | AssignmentMethod | EffectiveUserName |
|--------------------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|-------------------|
| Application Mail.Send-130f8... | Application Ma... | 130f8069-e973-... | ServicePrincipal | Direct           | e                 |

9. これで完了です。これで、Evoko Home のインストールと構成に進むことができます。

## v2.8 Evoko Home のインストール

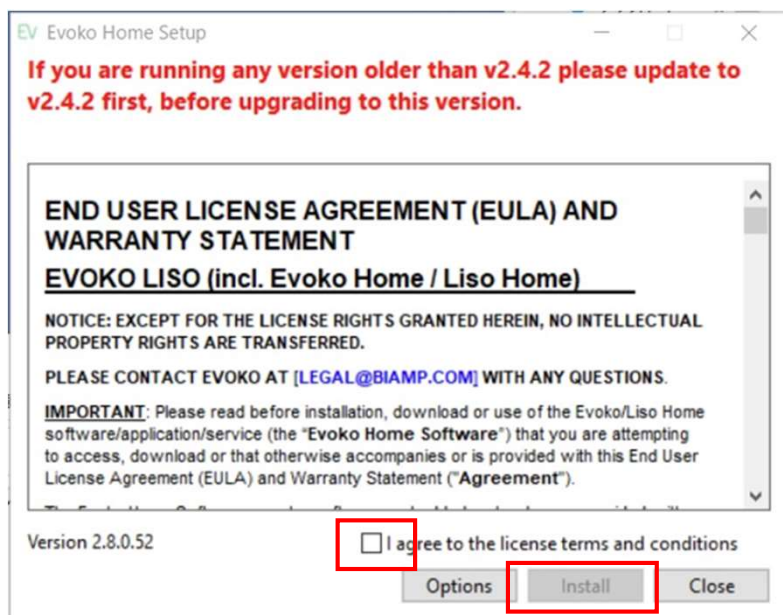
M365 の設定が無事完了しましたら、Evoko Home v2.8をインストールします。  
既に v 2.8以下のEvoko Homeがインストールされている方は、v 2.8をダウンロードしてインストーラーを Windows Serverのデスクトップに保存してください。

Evoko Home 2.8のインストーラーは <https://www.biamp.com/support/downloads#0> から取得可能です。



### 1: インストールマニュアル

インストーラーをダブルクリックすると、以下の画面が表示されます。  
I agree・・・の部分にチェックを入れて、Installをクリックします。

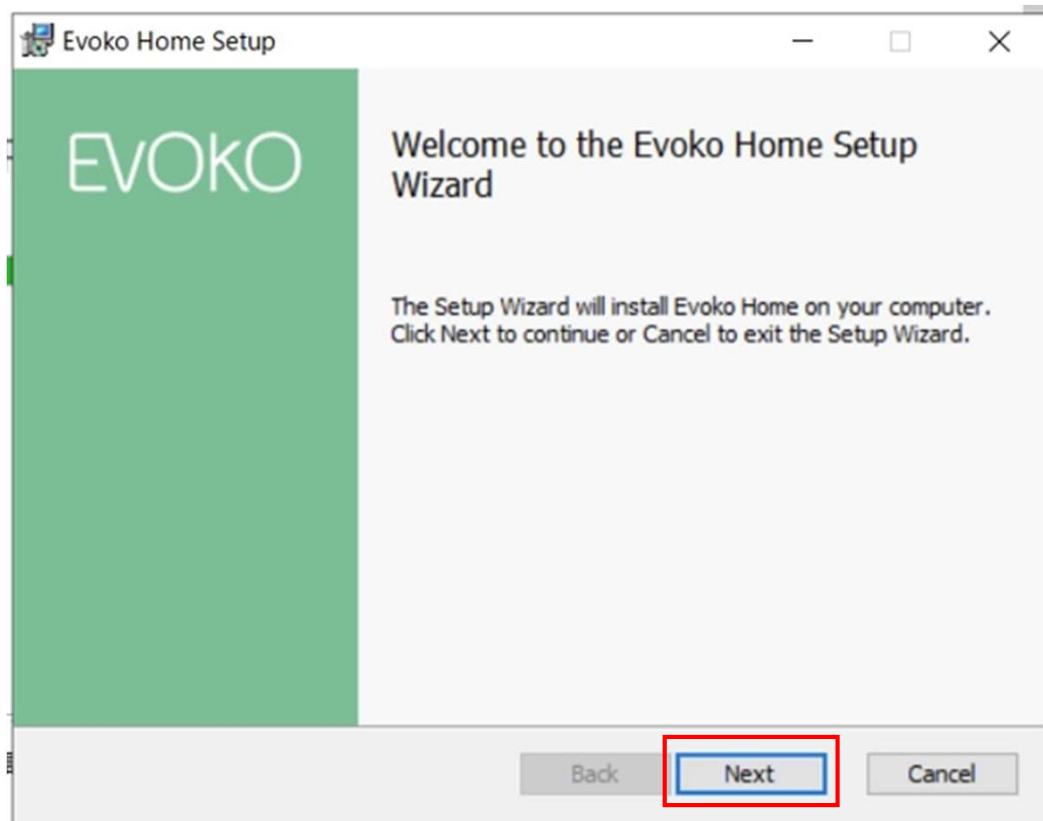


インストールが開始されると、以下のようなProgressバーが表示されます。

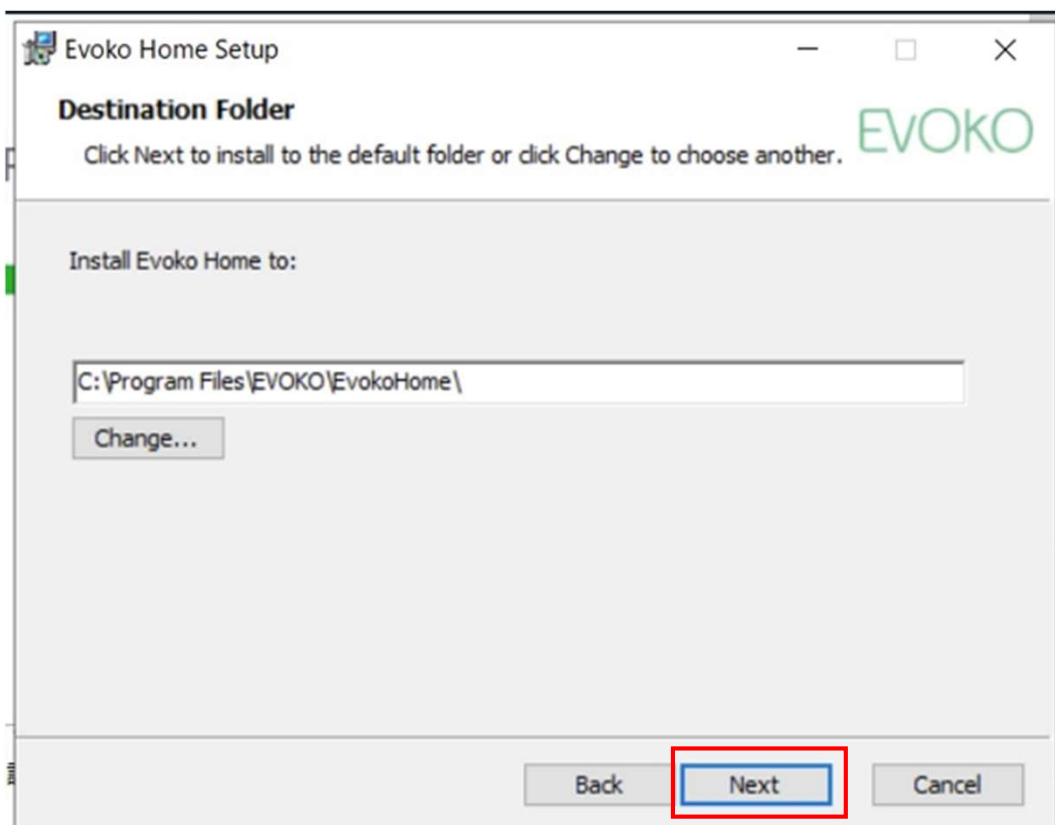
#### Setup Progress

Processing: MongoDB 7.0.11 2008R2Plus SSL (64 bit)

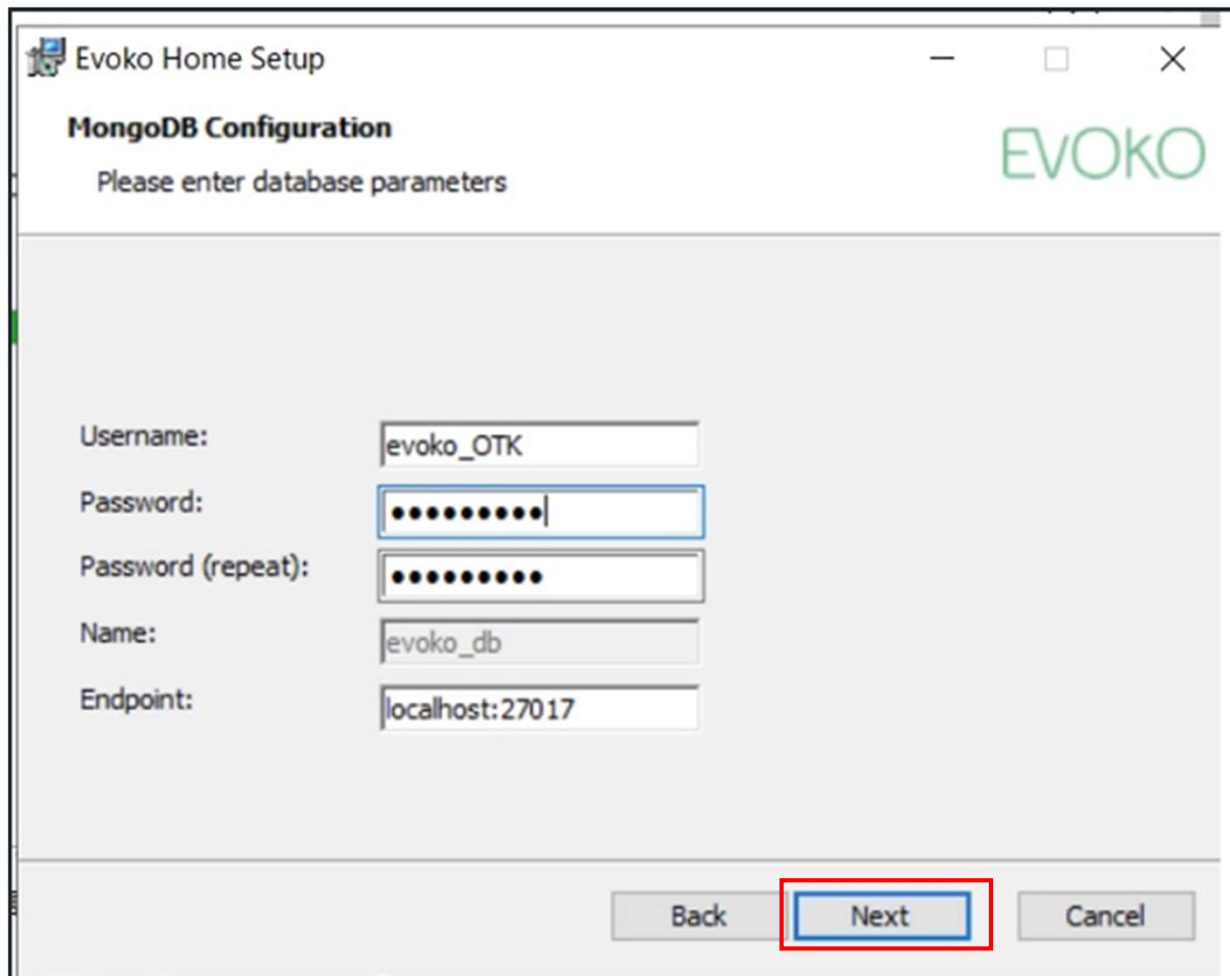
Evoko Home Setup Wizardが表示されます。Nextをクリックします。



Evoko Homeをインストールするフォルダを指定する。



MongoDBの設定をします。以下の設定項目は、以前にEvokoHomeをインストールされた時の情報が表示されております。一度、確認してNextを選択します。

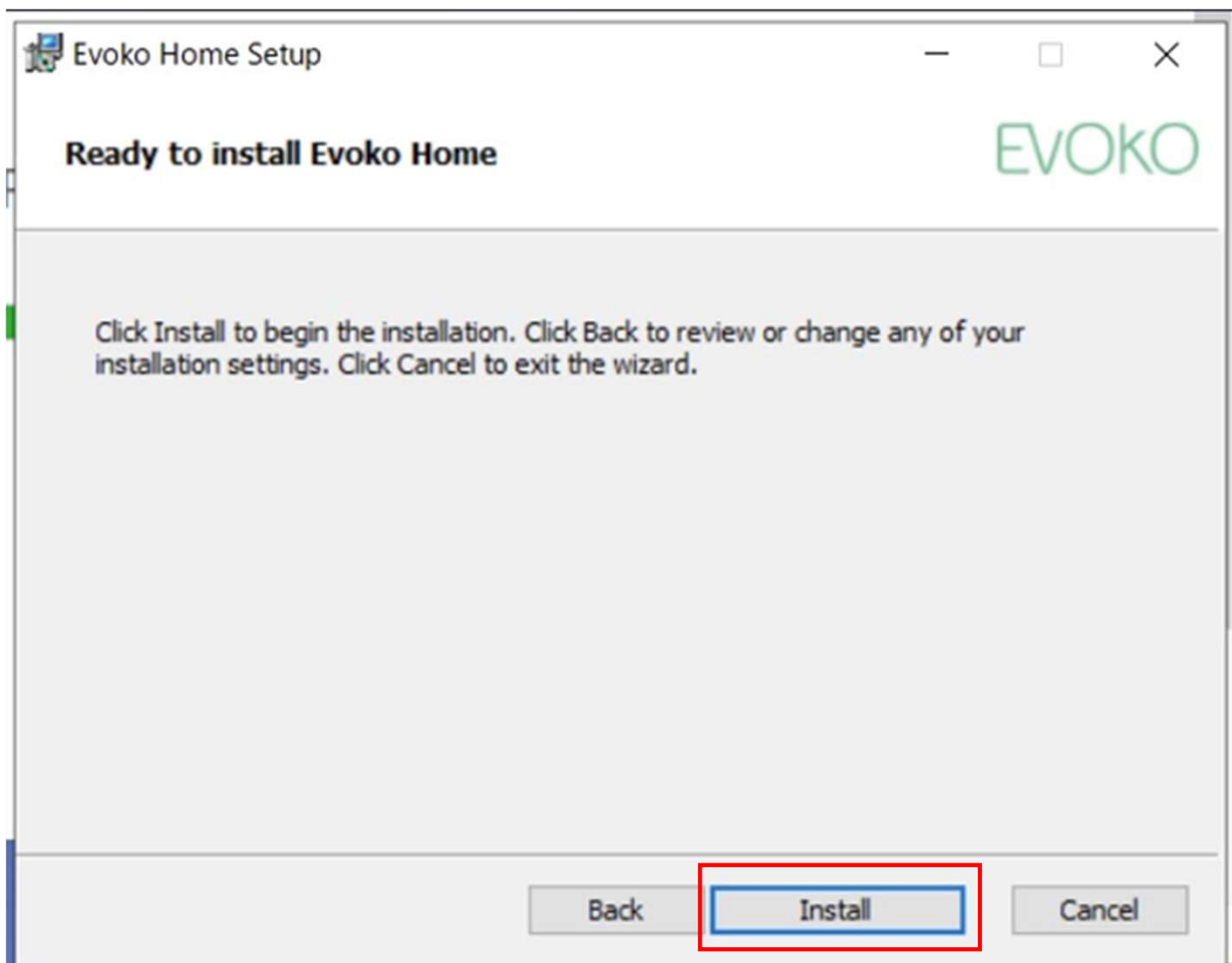


The screenshot shows the 'Evoko Home Setup' window with the 'MongoDB Configuration' tab selected. The window title is 'Evoko Home Setup' and the EVOKO logo is in the top right. The instruction 'Please enter database parameters' is displayed. The configuration fields are as follows:

| Field              | Value           |
|--------------------|-----------------|
| Username:          | evoko_OTK       |
| Password:          | .....           |
| Password (repeat): | .....           |
| Name:              | evoko_db        |
| Endpoint:          | localhost:27017 |

At the bottom, there are three buttons: 'Back', 'Next' (highlighted with a red rectangle), and 'Cancel'.

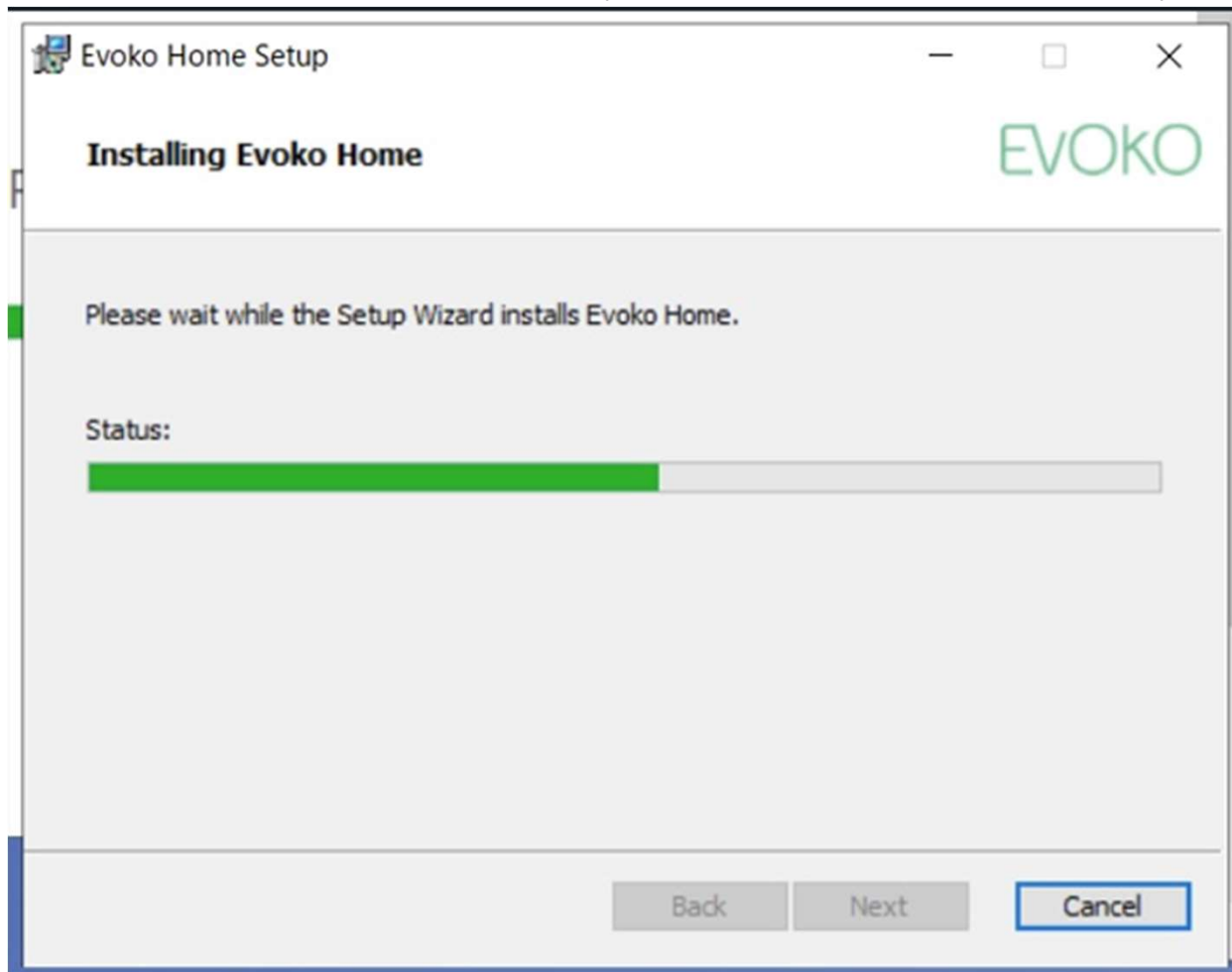
これでEvoko Homeをインストールする準備が整いましたので、Installボタンをクリックします。



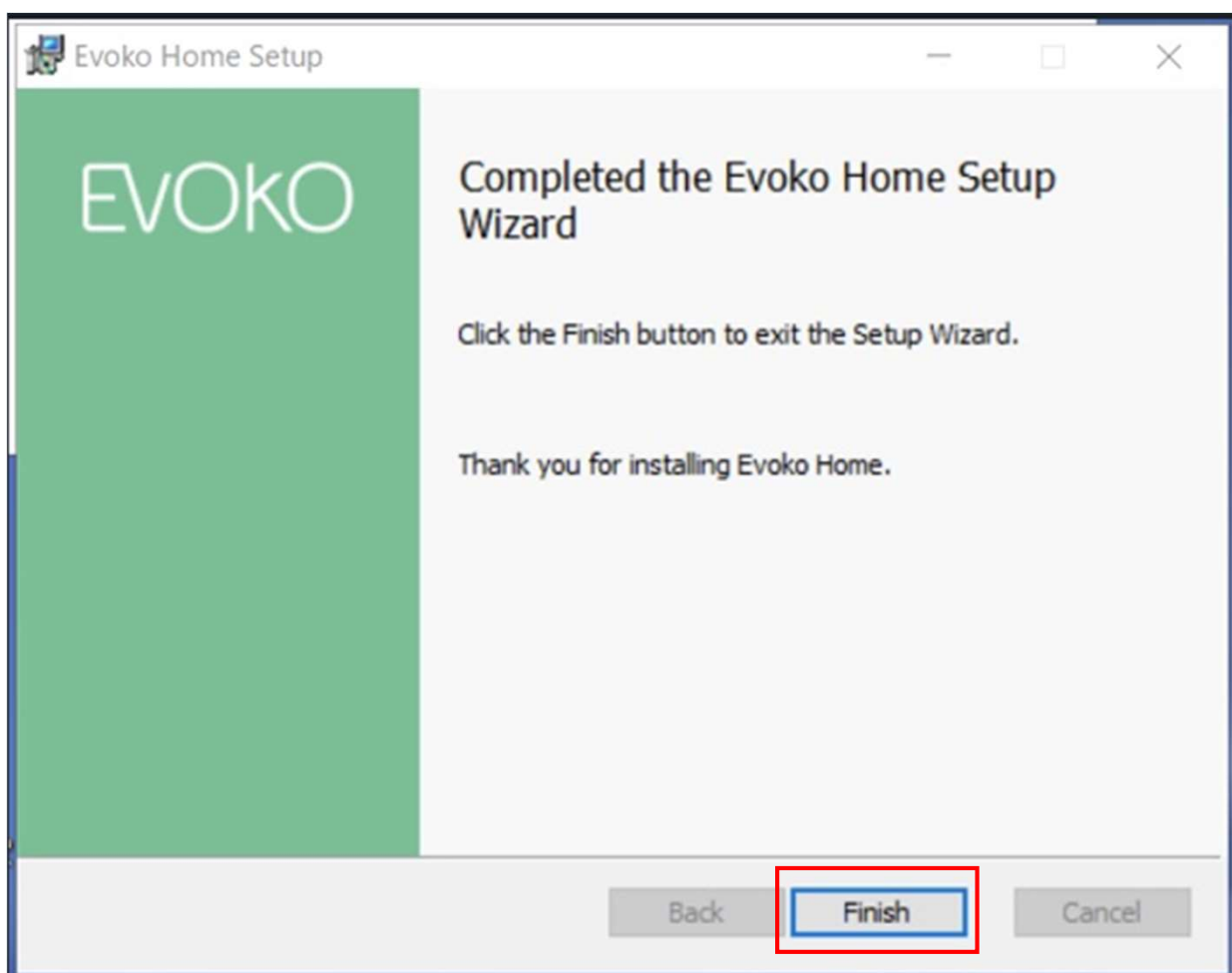
The screenshot shows the 'Evoko Home Setup' window with the 'Ready to install Evoko Home' tab selected. The window title is 'Evoko Home Setup' and the EVOKO logo is in the top right. The instruction text reads: 'Click Install to begin the installation. Click Back to review or change any of your installation settings. Click Cancel to exit the wizard.'

At the bottom, there are three buttons: 'Back', 'Install' (highlighted with a red rectangle), and 'Cancel'.

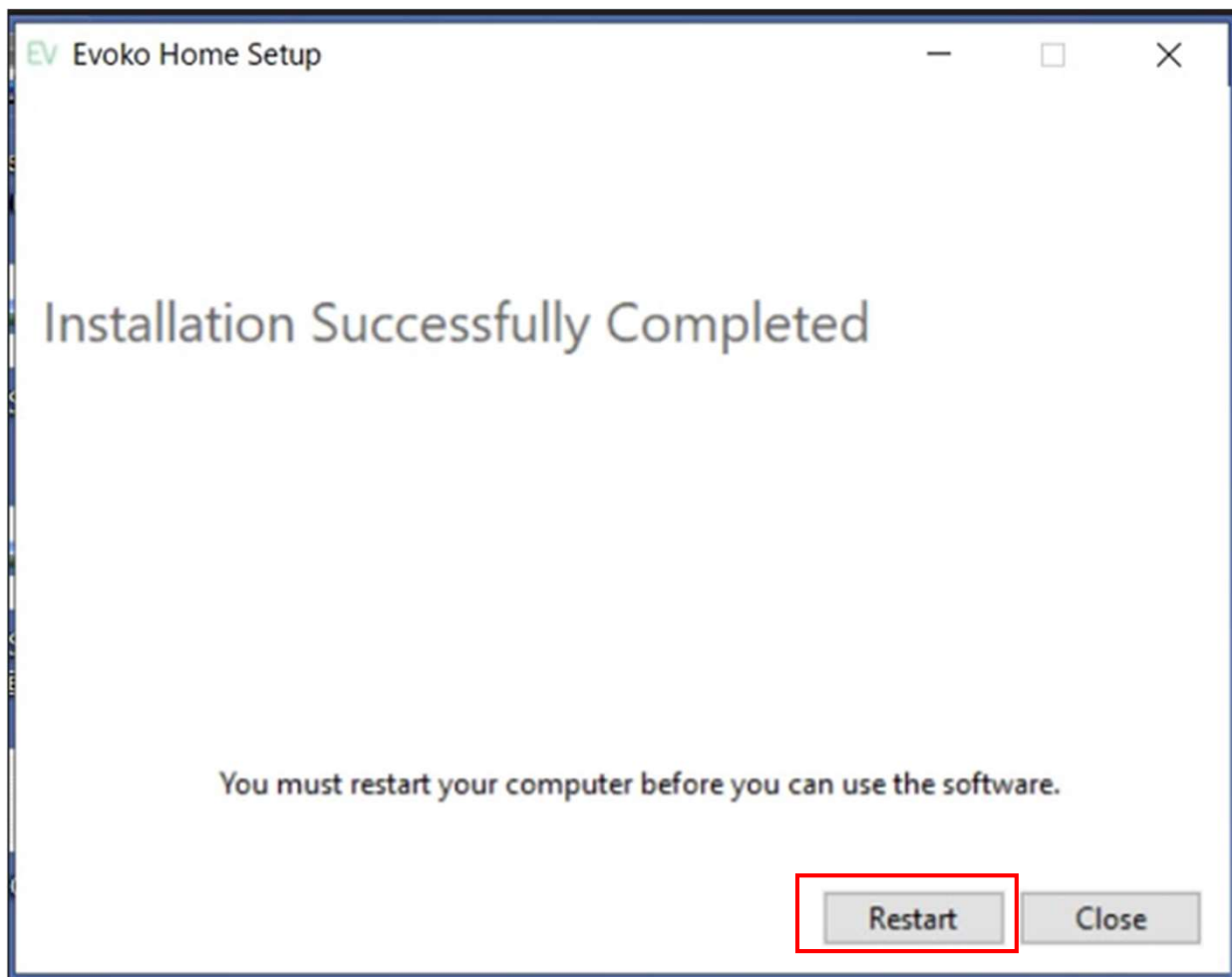
Evoko Home のインストールが開始されます。 インストールには2-3分程度かかります。



これで完了です、Finishを選択します。



Restartを選択します。  
こちらを選択すると、**Windows Serverが再起動**しますので、ご注意ください。



Windows Serverの再起動後に、これまで通りEvoko Homeにアクセスします。  
Evoko HomeがV2.8になっていれば完了です。

V2.8

A screenshot of a web browser displaying the Evoko Home web interface. The browser's address bar shows the URL 'https://testsv3002/evokoservice/rooms/monitoring'. The page has a dark blue header with navigation links: 'Rooms', 'Users', and 'Global Settings'. Below the header, there's a 'Monitoring' section with tabs for 'Logs', 'Firmware check', and a checkbox for 'Automatically update devices to latest Remote version'. The main content area features a table with room information. The table has columns: COUNTRY, CITY, BUILDING, FLOOR, ROOM NAME, ACTIVE, STATUS, FIRMWARE, MAC ADDRESS, IP ADDRESS, LAST REBOOT TIME (UTC), and ISSUES. There are three rows of data. To the right of the table, there's a 'DEVICE STATUS OVERVIEW' section with a filter dropdown set to '20' and a '1-3 of 3' indicator. The 'Log Out' button in the top right corner of the page is highlighted with a red rectangular box. A red arrow points from the text 'V2.8' to the 'Log Out' button. The Evoko logo is visible in the bottom right corner of the page.

## Evoko Liso（端末）の 2.8 へのアップグレード

以下のサイトから、Liso Device Upgrade（v2.8.0）をクリックしてZipファイル取得します。  
<https://www.biamp.com/support/downloads#0>

- ※Evoko Liso は右イメージの本体の事です。  
販売した時期で名称が違うかもしれません。
- ※Evoko LisoとWifiで接続している場合は、  
可能であれば、有線LANに変更して、  
FirewareのUPを行って頂ければと思います。



## Evoko Home 経由で Evoko Liso ファームウェアをリモートで更新する

Evoko HomeのGlobal Settingsで以下の部分がRemoteになっていることを確認する。  
Remoteの場合は、新しいLisoのFirmwareをインターネットから自動でダウンロードします。

Rooms

Users

Global Settings

General

Organisation name

Onkyotokki.Ltd

NTP server IP or FQDN (for device time)

0.pool.ntp.org

Time Server

NTP Server

☒ Time server strict mode

Download URL

<https://download-liso.evoko.se>

Firmware search location

☒ Remote

☐ Local

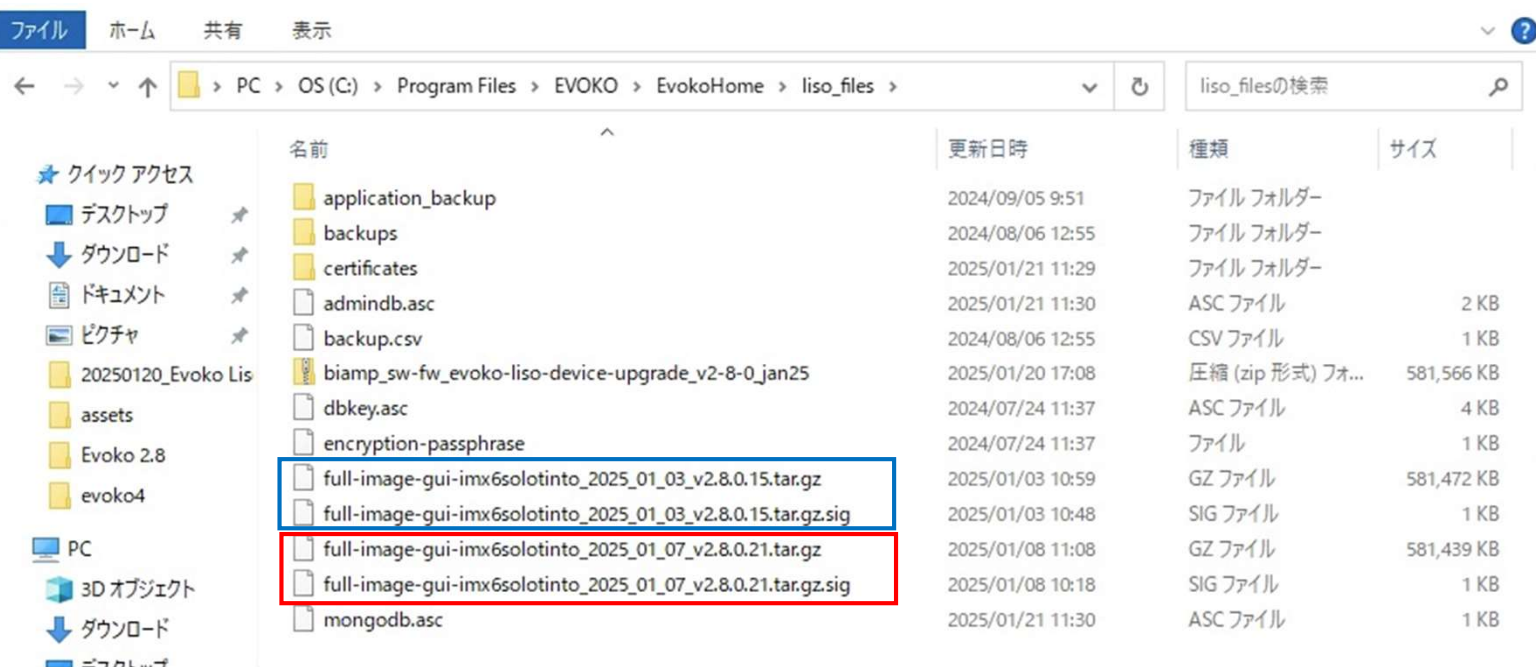
ダウンロードしたファームウェアはサーバー上の以下のディレクトリにインストールされます。

Windows - C:\*#Program Files#EVOKO#EvokoHome#liso\_files#

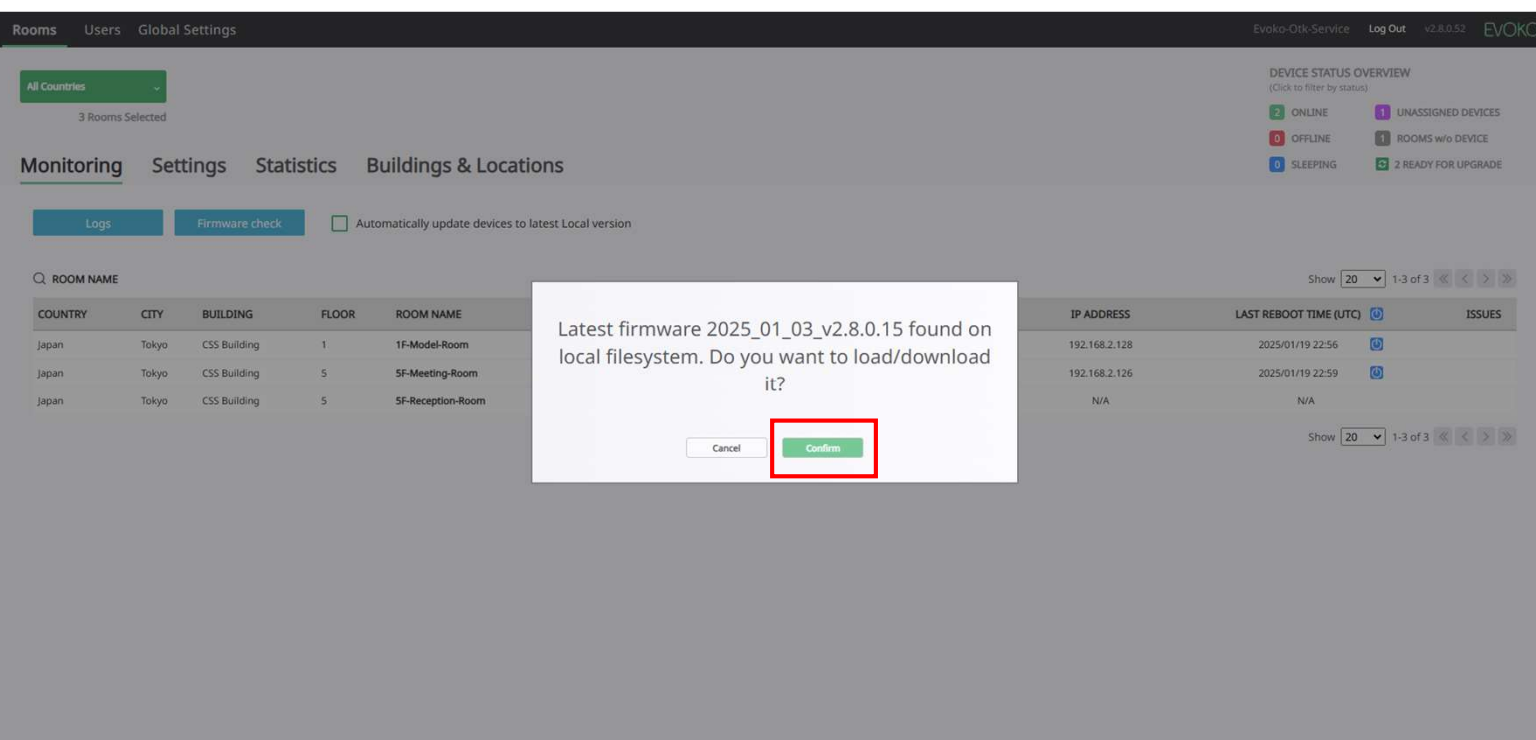
Linux - /home/\$USER/Evoko Home/liso\_files/

### 注意

以下のフォルダの画像において、赤で示したLisoのFirmwareと青で示したFiwareが存在しています。どちらもVersion2.8ですが、末尾が15と21があります。現在の最新版は21です。この資料を制作時は15でしたので、現状は21をご利用ください。



Evoko Homeの画面に戻り、Firmware Check をクリックすると、以下の様な表示が出ます。Confirmで次に進みます。



以下の様な表示が出ます。OKで次に進みます。

The screenshot shows the Evoko interface with a modal dialog box in the center. The dialog contains the text: "Firmware load from local filesystem started. Please wait until it finishes!" and an "OK" button, which is highlighted with a red rectangle. The background interface shows the "Monitoring" tab with a table of rooms and a "Firmware check" button.

| COUNTRY | CITY  | BUILDING     | FLOOR | ROOM NAME         |
|---------|-------|--------------|-------|-------------------|
| Japan   | Tokyo | CSS Building | 1     | 1F-Model-Room     |
| Japan   | Tokyo | CSS Building | 5     | 5F-Meeting-Room   |
| Japan   | Tokyo | CSS Building | 5     | 5F-Reception-Room |

Firewareの項目の  ボタンを押す。  
押すと、 のようなマークになります。

The screenshot shows the Evoko interface with a red arrow pointing from the text above to the "FIRMWARE" column header in the room table. The "FIRMWARE" column contains a refresh icon (a square with a circular arrow) for the first two rows, which are circled in red. The third row shows "N/A".

| COUNTRY | CITY  | BUILDING     | FLOOR | ROOM NAME         | ACTIVE | STATUS | FIRMWARE | MAC ADDRESS       | IP ADDRESS    | LAST REBOOT TIME (UTC) | ISSUES |
|---------|-------|--------------|-------|-------------------|--------|--------|----------|-------------------|---------------|------------------------|--------|
| Japan   | Tokyo | CSS Building | 1     | 1F-Model-Room     |        |        | v2.7.0.0 | 00:14:0b:8b:56:75 | 192.168.2.128 | 2025/01/19 22:56       |        |
| Japan   | Tokyo | CSS Building | 5     | 5F-Meeting-Room   |        |        | v2.7.0.0 | 00:14:0b:8b:3f:48 | 192.168.2.126 | 2025/01/19 22:59       |        |
| Japan   | Tokyo | CSS Building | 5     | 5F-Reception-Room |        |        | N/A      | N/A               | N/A           | N/A                    |        |

その後、 のようなマークになります。

The screenshot shows the Evoko interface with a red circle highlighting the download icon (a square with a downward arrow) in the "FIRMWARE" column for the first row. The second row still shows the refresh icon, and the third row shows "N/A".

| COUNTRY | CITY  | BUILDING     | FLOOR | ROOM NAME         | ACTIVE | STATUS | FIRMWARE  | MAC ADDRESS       | IP ADDRESS    | LAST REBOOT TIME (UTC) | ISSUES |
|---------|-------|--------------|-------|-------------------|--------|--------|-----------|-------------------|---------------|------------------------|--------|
| Japan   | Tokyo | CSS Building | 1     | 1F-Model-Room     |        |        | v2.8.0.15 | 00:14:0b:8b:56:75 | 192.168.2.128 | 2025/01/19 22:56       |        |
| Japan   | Tokyo | CSS Building | 5     | 5F-Meeting-Room   |        |        | v2.7.0.0  | 00:14:0b:8b:3f:48 | 192.168.2.126 | 2025/01/19 22:59       |        |
| Japan   | Tokyo | CSS Building | 5     | 5F-Reception-Room |        |        | N/A       | N/A               | N/A           | N/A                    |        |

約 10 分ぐらい経過すると、Evoko Lisoが正常に再起動を終え、Version 2.8で使用できるようになります。

## Booking System（M365）の移行

古いVersionで使用していたEvoko Homeから新しいEvoko Home v2.8に移行に伴い、Microsoft Entraで登録したEvoko HomeのAPP情報も新しい方へ更新します。Microsoft Entraにアクセスし、アプリの登録から、全てのアプリケーションで“Evoko”等で検索をかけると今回追加したEvoko Home と前回追加したEvoko Homeが表示されるかと思います。

過去のVersion UPで作成した新しいEvoko Home アプリ

今回のVersion UPで作成したEvoko Home アプリ



Microsoft Entra 管理センター

ホーム > アプリの登録

2020 年 6 月 30 日以降、Azure Active Directory 認証ライブラリ (ADAL) および Azure Active Directory Graph (GAL) の新しい機能はもう追加されません。テクニカル サポートとセキュリティ更新プログラムは今後も提供されますが、機能更新プログラムは提供されません。アプリケーションを、Microsoft 認証ライブラリ (MSAL) および Microsoft Graph にアップグレードする必要があります。 [詳細情報](#)

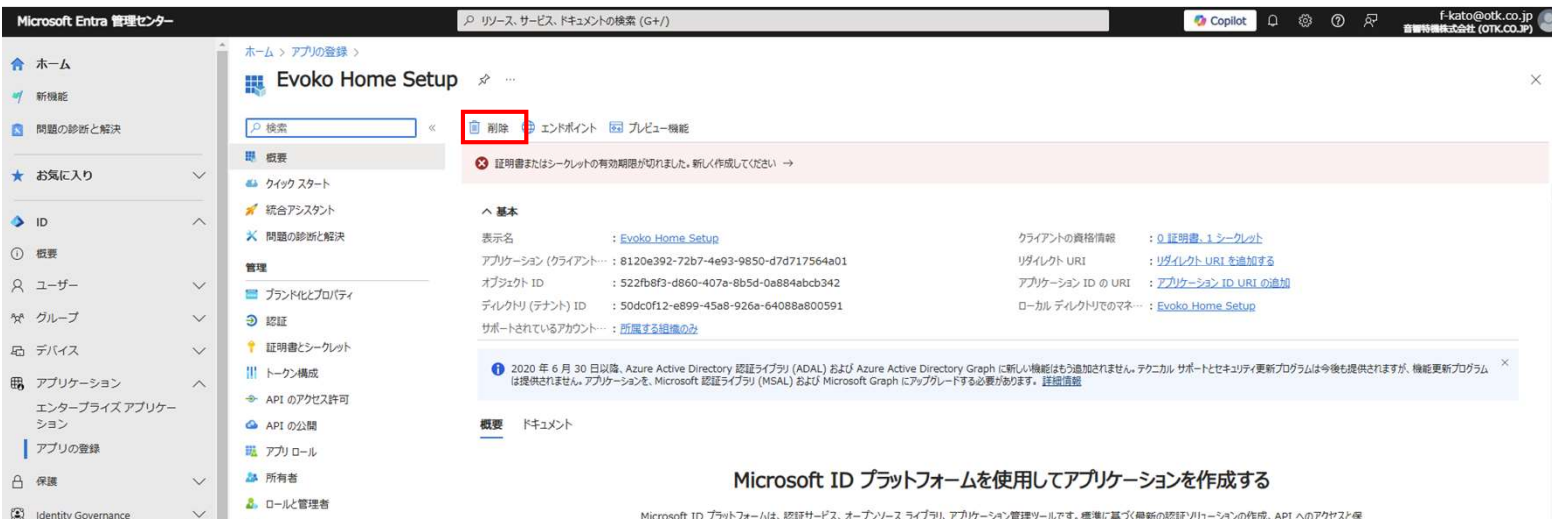
すべてのアプリケーション 所有しているアプリケーション 削除されたアプリケーション

表示名またはアプリケーション (クライアント) ID を入力し始めると結果がフィ...

3 件のアプリケーションが見つかりました

| 表示名 ↑                            | アプリケーション (クライアント) ID                 | 作成日 ↑     | 証明書とシークレット |
|----------------------------------|--------------------------------------|-----------|------------|
| Evoko Home Setup                 | 8120e392-72b7-4e93-9850-d7d717564a01 | 2024/7/24 | 有効期限切れ     |
| Evoko Home v2.8 APP Registration | ce3ceae2-9487-4d86-ba83-ef34412ffa59 | 2025/1/10 | 現在         |
| P2P Server                       | 0692fd37-ebb3-4788-919f-d47c229b68f1 | 2017/3/25 | -          |

古いEvoko Homeのアプリを選択して、削除を選択します。



Microsoft Entra 管理センター

ホーム > アプリの登録 > Evoko Home Setup

検索 削除 エンドポイント プレビュー機能

証明書またはシークレットの有効期限が切れました。新しく作成してください →

概要

基本

表示名 : Evoko Home Setup

アプリケーション (クライアント) ID : 8120e392-72b7-4e93-9850-d7d717564a01

オブジェクト ID : 522fbef3-d860-407a-8b5d-0a884abcb342

ディレクトリ (テナント) ID : 50dc0f12-e899-45a8-926a-64088a800591

クライアントの資格情報 : 証明書のシークレット

リダイレクト URI : リダイレクト URI を追加する

アプリケーション ID の URI : アプリケーション ID URI の追加

ローカル ディレクトリでのマネージメント : Evoko Home Setup

サポートされているアカウント : 所属する組織のみ

2020 年 6 月 30 日以降、Azure Active Directory 認証ライブラリ (ADAL) および Azure Active Directory Graph (GAL) に新しい機能はもう追加されません。テクニカル サポートとセキュリティ更新プログラムは今後も提供されますが、機能更新プログラムは提供されません。アプリケーションを、Microsoft 認証ライブラリ (MSAL) および Microsoft Graph にアップグレードする必要があります。 [詳細情報](#)

概要 ドキュメント

Microsoft ID プラットフォームを使用してアプリケーションを作成する

Microsoft ID プラットフォームは、認証サービス、オープンソース ライブラリ、アプリケーション管理ツールです。標準に基づく最新の認証ソリューションの作成、API へのアクセスと保

アプリの登録を削除の画面等が表示されますが、そのまま削除を進めてください。

次に管理者でEvoko Homeにアクセスします。ここでは、古いVersionで使用していたEWSでの接続からMicrosoft Graphを用いての接続方法へ登録を移行します。

Evoko HomeのGlobe Settingsへアクセスし、API Migration for Booking SystemのMigrationを選択します。

ここで、これまでの登録で取得した以下の情報をそれぞれコピー＆ペーストで記入していきます。

- ・アプリケーションID
- ・クライアントシークレット値
- ・送信者のメールアドレス

Migrationを選択すると、以下のような確認画面が表示され、「確認する」を選択すると、概ね1分程度で移行が完了します。

以上で、全行程が完了です。